

「問10「手話」について質問や意見がありましたらお聞かせください。」でいただいた質問についてお答えします。

※類似の質問については、まとめてお答えしています。

※障がい福祉課で働いている手話通訳者の方にも話を聞きました。

モニターからの質問・意見		回答
1	手話を学べる場所について	手話を学べる場所として「八戸市手話サークルこすもす」があります。福祉公民館において毎週火曜日の10時～12時、19時～21時で活動しています。見学はいつでも可能です。 その他には、「手話奉仕員養成講座」があります(16歳以上対象)。※全25回 毎年4月ごろに申込を開始しますので、広報はちのへや市のホームページで確認してください。
2	手話の習得期間について	どのくらいの期間で習得できるかは、個人差がありますが、「手話奉仕員養成講座」を2年間受けることで簡単な日常会話はできるようになると思います。 もっと専門的な、手話通訳者の資格を取る場合には、「手話奉仕員養成講座」(入門編・基礎編)を2年間受けたのち、「手話通訳者養成講座」を2年間受け、試験に合格する必要があります。 八戸市では、ろう者の方などが日常生活の中で手話通訳が必要な場合(病院に行くときなど)に手話通訳者を派遣(はけん)する事業を行っていますが、この事業に登録していただいている手話通訳者の方たちは、この資格を持っている方たちです。
3	手話を早くできるようになるにはどうすればいいか？	ろう者の方たちと手話で会話をする機会を増やすことが1番だと思います。「手話奉仕員養成講座」・「手話通訳者養成講座」では、ろう者の方が先生をしていますので、早く覚えられるようになると思います。
4	どのように勉強すればいいのか、専門の先生はいるのか？	インターネット、テレビ番組、本などでも勉強はできますが、「手話奉仕員養成講座」・「手話通訳者養成講座」では専門の先生(ろう者の先生と聞こえる先生)が教えてくれます。顔を合わせて勉強すると、より伝わる手話ができるようになります。
5	手話ができない場合のろう者の方とのコミュニケーション方法	手話以外にも指文字、筆談、空書き、身ぶり、口話(口の動きを読み取る)があります。 ただし、口話は口の動きが同じような言葉(例えば、すし・うし・つり・すき)がたくさんあるため、読み取ることがむずかしいです。そのため、短い文章での筆談や身ぶりを合わせてコミュニケーションを取るほうがいいと思います。
6	AIは、手話を認識できたり、することができるのか？	AI認識による手話学習ゲームの「手話タウン」というゲームアプリ(PCのみ対応)があります。パソコンのカメラに向かって手話をする、見本の手話動画と同じ表現ができているかをAIが認識します。見本と同じように手話ができるとアイテムがゲットできるゲームになっていますので、是非遊んでみてください。 また、AIが手話を翻訳したり、日本語の文章をCGキャラクターが手話表現する技術なども開発されてきているようです。

7	手話で話せないことはないのか？	手話で話せないことはないと思います。 相手に伝わりにくい時は、音声で会話をする時に相手にわかるように言い換えたりするのと同じように、手話も相手にわかるように表現をかえてみたり、身振りなどを使って伝えたりします。
8	ろう者とわかる方法があるのか？	聴覚障がいは「目に見えない障がい」と言われており、見た目だけではわかる方法はありません。後ろから話しかけてもふりかえらない、車のクラクションが聞こえていないような時は、ろう者かとも思ってみて欲しいと思います。
9	東日本大震災のときに避難所で困ったときいた。 簡単な手話ができる人が避難所にいたらいいなと思う。	現在は福祉避難所へ手話通訳者を派遣(はけん)できるようになっています。 でも多くの方が、簡単な手話を覚えることや手話に限らずろう者とのコミュニケーション方法を知っていることで、ろう者の方が困っている時に助けることができます。 また、アナウンスなどが聞こえず困る人がいる、ということを知っていることが手助けするきっかけになると思いますので、今回のアンケートをきっかけにろう者のこと、手話のことを家族の方や友達にも教えてもらえると嬉しいです。